

性状等

成分：過酢酸(2~4%)、過酸化水素(4~6%)、酢酸(30%)、安定化剤(1%未満)、無機酸(1%未満)
分類：雑品
液性：酸性(原液:pH1、100~300倍希釈:pH3)
外観：無色透明液体
臭気：酢酸臭
使用期限：製造後12ヶ月

使用方法

1 洗浄方法に応じた希釈倍率で、透析装置や配管を一定時間洗浄する。

希釈倍率の目安 夜間封入時: 200~300倍希釈、シングルパス時: 100~200倍希釈

※状況に応じて希釈倍率と洗浄時間を調整してください。※希釈液は少量で調製し、なるべく早く使い切ってください。

2 夜間封入およびシングルパス後、十分なすすぎを行う。

すすぎ時間の目安 水洗で60分以上(必要に応じて残留を確認する)

※パケット®過酸化水素(株共立理化学研究所)などを用いて、過酸化水素の残留確認(検出感度0.05ppm以下)を行ってください。
※過酸化水素が残留していないことを確認した後、過酸化水素が再検出されることがありますので、RO水による水洗や封入を追加したうえで(30分程度)、過酸化水素の残留を再確認することをおすすめいたします。

使用上の注意

- 本品に消毒・滅菌効果はありません。
- 用途以外に使用しない。
- 他の薬剤・洗浄剤とは混ぜない。特に、塩素系薬剤と混ぜない。有害な塩素ガスが発生する。
- 作業時は、必ず保護メガネおよびマスク、保護手袋、保護着を着用する。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。
- 人体には使用しない。
- 一度容器から出した薬剤は、もとの容器に戻さない。
- 換気の良い場所で作業し、ミストの吸入を避ける。
- 原液は刺激臭がある。
- 鉄、銅、真ちゅう、亜鉛鋼板、炭素鋼には使用しない。
- 使用後は、水で目・皮膚・のど・手をよく洗う。
- キャップを開けるとき、液が飛び出す恐れがある。また、容器を移動するときは、キャップをしっかりと閉める。緩んでいると、液が跳ねて目や皮膚に付く恐れがある。
- 廃棄時は適切な中和剤を用いて中和後、多量の水とともに廃棄する。そのまま廃棄すると、廃水処理施設の活性汚泥や配管に影響を与える恐れがある。
- 使い終わった容器はよく洗ってから処理する。
- 内容物や容器は、(国際/国/都道府県/市町村)の規則に従って廃棄する。
- 使用期限が過ぎたものは使用しない。
- 液の性質により、経時的に容器口部が黄変することがありますが、性能に問題ありません。

保管上の注意

- 他の容器に移し替えて保管しない。
- 小児や認知症の方の誤飲などを防ぐため、置き場所に注意する。
- 容器のキャップをしっかりと閉め、容器を密閉して換気の良いところで保管する。
- 容器は必ず上向きで保管する。横に倒すと液が漏れ出る恐れがある。
- 倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。
- 直射日光の当たらない冷暗所に保管する。

応急処置

- ※診断時は、必ず本品またはSDSを持参する
- 蒸気または有毒なガスを吸い込んだ場合、直ちに風通しの良い場所に移動し、安静にした後に速やかに医師の診断を受ける。手当が遅れると生命にかかわる恐れがある。
 - 目に入った場合は、直ちに多量の流水で15分以上洗い流す。異常がある場合は医師の診断を受ける。
 - 飲みこんだ場合、直ちに多量の水、牛乳や生卵を飲ませる(アレルギーの場合はその限りではない)。無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。
 - 液が皮膚に付いた場合、直ちに多量の水で十分に洗い流す。液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。手当が遅れると炎症を起こす恐れがある。
 - いずれの場合も、容態に変化があった場合は、本品または、SDSを持参し医師の診断を受ける。

品名	内容量/規格	1梱入数	商品コード	JANコード
サラティブPA-V	10kg B.I.B.	1	41616	49-87696-41616-1

■製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ■写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。 ■掲載製品の詳細については、取扱店または当社にお尋ねください。 ■記載内容は2025年6月現在のものです。

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
https://www.saraya.com/

お問い合わせ先 TEL.06-6797-2525

学術的なお問い合わせ先 学術部 TEL.06-4706-3938
(受付時間：平日 9:00~17:00)

SARAYA

商品の詳しい情報は
こちらから▶



透析装置専用 過酢酸系洗浄除菌剤

サラティブPA-V

透析装置や配管に付着した
微生物汚染、有機物汚染、
炭酸カルシウムスケールの
除去に最適な過酢酸系
透析装置専用洗浄除菌剤です。



10kg B.I.B.

製品特徴

除菌性能・バイオフィーム除去性能

高希釈倍率&短時間で微生物汚染や有機物汚染に作用し、透析装置や配管内に発生するバイオフィームの抑制や除去につながります。

炭酸カルシウムスケール除去性能

炭酸カルシウムスケールを強力に除去することで、配管の詰まりの抑制につながります。

材質適合性

透析装置や配管に使用されている部品に対する腐食性が低く、透析装置の動作に影響を与えません。

除錆性能

透析装置の金属部品に対する除錆性能を強化しました。

非劇物

使用時や保管時の安全性に配慮しています。

除菌性能

最小発育阻止濃度(MIC)試験

サラティブPA-Vを精製水で希釈し、グラム陰性菌、グラム陽性菌、酵母を 10^6 から 10^7 CFU接種しました。グラム陰性菌とグラム陽性菌は37°Cで24時間、酵母は30°Cで72時間培養した後、濁りのない濃度を最小発育阻止濃度(MIC)としました。

希釈倍率	50倍希釈	100倍希釈	200倍希釈	400倍希釈	600倍希釈	MIC値/%
濃度/%	2	1	0.5	0.25	0.17	
グラム陰性菌	-	-	-	+	+	0.5
グラム陽性菌	-	-	-	-	+	0.25
酵母	-	-	+	+	+	1

—:濁りなし・発育なし、+:濁りあり・発育あり

除菌性能試験

サラティブPA-Vを精製水で希釈し、グラム陰性菌、グラム陽性菌、酵母を 10^7 から 10^8 CFU接種しました。一定時間作用させた後、不活化剤で不活化し、グラム陰性菌とグラム陽性菌は37°Cで24時間、酵母は30°Cで72時間培養した後、生菌数を測定し、対数減少値を求めました。

供試菌	初期菌数 (Log CFU/mL)	作用時間	対数減少値(Log CFU/mL)		
			100倍希釈液	200倍希釈液	300倍希釈液
グラム陰性菌	8.6	1分	>7.6	>7.6	<3.6
		2分	>7.6	>7.6	5.6
		5分	-	-	>7.6
グラム陽性菌	8.2	30秒	>7.2	>7.2	>7.2
酵母	7.2	2分	>6.2	4.3	2.2
		5分	>6.2	>6.2	4.3
		10分	-	>6.2	5.8
		20分	-	-	>6.2

サラティブPA-V(300倍希釈液)は、グラム陰性菌に対して作用時間5分後、グラム陽性菌に対して作用時間30秒後、酵母に対して作用時間20分後で検出されませんでした。

炭酸カルシウムスケール除去性能

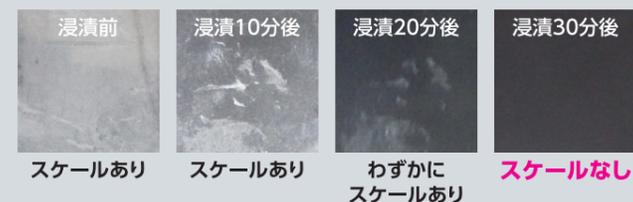
炭酸カルシウムスケール除去性能試験

無色透明の硬質塩化ビニルテストピース(3cm×5cm)に、炭酸カルシウムスケールを付着させました。テストピースをサラティブPA-Vの希釈液に浸漬し、炭酸カルシウムスケール溶解の様子を外観観察しました。

サラティブPA-V 100倍希釈液



サラティブPA-V 300倍希釈液



サラティブPA-Vの100倍希釈液に浸漬すると20分後、300倍希釈液に浸漬すると30分後には炭酸カルシウムスケールが溶解しました。

除錆性能

除錆性能試験

次亜塩素酸ナトリウム系洗浄剤(標準使用濃度50~250倍)を精製水で100倍に希釈し、SUS316Lテストピースを浸漬しました。50°Cで2日間保管後のテストピースを錆付着テストピースとしました。サラティブPA-Vを精製水で300倍に希釈し、錆付着テストピースを浸漬しました。室温下で8時間保管し、外観を確認した後に試験液を交換し、16時間後の外観も確認しました。

サラティブPA-V300倍希釈液

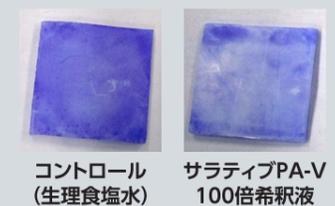


サラティブPA-Vの300倍希釈液に浸漬すると、16時間後にすべての錆が除去されました。

バイオフィルム除去性能

バイオフィルム除去性能試験

緑膿菌を接種した貧栄養培地にフッ素樹脂(PTFE)テストピースを浸漬し、37°Cで48時間培養してバイオフィルムを形成させました。テストピースをサラティブPA-Vの100倍希釈液に室温下で適宜攪拌しながら30分浸漬しました。また、生理食塩水で同様に処理したテストピースをコントロールとしました。軽くすすいだ後、クリスタルバイオレットで染色し目視観察しました。



コントロール(生理食塩水)ではテストピース全体が染色されました。サラティブPA-Vの100倍希釈液で処理したテストピースでは染色部分が少なくなりました。

材質適合性

材質適合性試験

サラティブPA-Vを精製水で100倍に希釈し、各種材質のテストピースを浸漬しました。50°Cで7日間保管後、テストピースの重量変化率と外観変化を調べました。対照を精製水としました。

材質	精製水		サラティブPA-V 100倍希釈液	
	重量変化率/%	外観変化	重量変化率/%	外観変化
ステンレス: SUS304	0.01	なし	0.00	なし
ステンレス: SUS316L	0.01	なし	0.02	なし
硬質塩化ビニル	-0.01	なし	0.04	なし
軟質塩化ビニル	-0.10	なし	-0.19	なし
シリコン樹脂	-0.01	なし	0.36	なし
フッ素ゴム	0.19	なし	0.11	なし
ポリプロピレン	0.05	なし	0.02	なし
ポリエチレン	0.04	なし	0.03	なし
EPDMゴム	0.08	なし	7.12	表面に荒れ、白色化
フッ素樹脂: PTFE	-0.07	なし	-0.05	なし
ポリスチレン	0.02	なし	0.02	なし
ABS樹脂	0.15	なし	0.18	なし
アクリル樹脂	0.67	なし	0.67	なし
ポリフェニルサルフォン	0.22	なし	0.24	なし
ポリエーテルイミド	0.30	なし	0.19	なし
ポリカーボネート	-0.02	なし	-0.02	なし
ガラス	0.26	なし	0.02	なし
ポリサルフォン	0.20	なし	-0.09	なし
PET	0.09	なし	0.16	なし
ポリフェニレンサルファイド	0.00	なし	0.03	なし